

## 居住・建築システム技術系の教育訓練目標

居住・建築分野のものづくりにおいて、性能を決定づけるものには設計・計画や材料の品質等があるが、それ以上に施工に依存するところが大きく、近年、建物の品質を左右する施工管理技術の重要度が増してきている。

居住・建築システム技術系では、建築施工技術及び建築施工管理技術を建築生産分野において的確に応用できるだけでなく、建設業の現場管理業務等の職務を想定したワーキング・グループ学習方式により、標準課題や開発課題に取り組むことで、現場を担う将来のリーダーとして企業の発展に貢献できる高度な実践技能者の育成を訓練目標とする。

## 建築施工システム技術科の教育訓練目標

建築施工システム技術科は、木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造等の代表的な建築施工に関する技術・技能や施工管理能力を養い、建築技術および施工計画・施工管理等の能力を建築生産分野で発揮できる高度な実践技能者の育成を教育訓練目標とする。